

1. 総括

就労移行支援との多機能事業所として3年目の今年度の最大契約者は38名となり、1日平均の利用者数は21人、延べ利用者数は、5620名であった。

コロナウィルス感染症による緊急事態宣言下では在宅での支援を余儀なくされ、1日2回の電話支援を行った。通所が再開されてからも3密を回避するため、午前と午後の2部制の通所とし、検温・消毒の徹底、送迎時のフェイスガード使用などの感染対策を現在も行なっている。通所時間は減ったが、補填する形で工賃支払いは継続している。

昨年度から進めている「KANUMAISM (カヌマイズム)」では、麻炭香の成形作業や麻すところの磨き作業が加わった。地域産業に貢献できる喜びを感じながら、自分のペースで取り組める作業の提供につながった。

また継続してきめ細やかなアセスメントを実施し個別に対応することで、A型事業所や一般就労へのステップアップを目指す方、週2日の通所からスタートし、少しずつ日数を増やす方など「自分らしい働き方」の提供が可能になった。

2. 年間利用者数

(人)

月 開所日収	4月 22	5月 23	6月 22	7月 23	8月 19	9月 22	10月 23	11月 22	12月 23	1月 23	2月 20	3月 23	合計 265
契約者数 (人)	36	36	36	36	36	37	36	36	36	36	37	38	
退所者数 (人)							1						
新規契約 数(人)						1					1	1	
1日平均 利用者数 (人)	21.2	25.8	24.3	20.0	22.6	22.0	21.2	18.9	17.3	16.8	21.7	23.8	21.2
延利用者数	469	574	535	462	431	486	489	416	398	387	434	548	5620

※主な欠席理由…体調不良・精神不安定・家事都合(通院など)

※契約者の状況

身体障害 2名 知的障害 20名 精神障害 14名

新規契約利用者： 3名

退所者： 1名（在宅 1名）

3. 担当職員

サービス管理責任者：宇賀神美菜子

生活支援員：大貴祐子、関口明日香、小森敏江、鈴木順子、伊藤志津

職業指導員：藤田薫、金城キヨミ、高波三奈、宇賀神由子

目標工賃達成指導員：高山恵美子、鈴木美鈴

4. 就労支援事業

(1) 職業（作業）支援

①製菓製パン部門

売上目標額 400万円（実績 500万円）

成 果

- ・障害手帳を持っている職員が一人で焼成できるようになった。
- ・売り上げ目標達成
- ・職員育成の部分では任せられる人が出てきた。

課 題

- ・コロナ禍で、cocovoが閉店し、鹿沼宿のみの販売になった。
- ・日曜日の成形ができる職員が一人しかいない。

②デリカフェ部門

売上目標額 350万円（実績 186万円）

成 果

- ・店頭販売をすることにより、認知度がアップした。
- ・SNSなどの発信により新規顧客が増えた。

課 題

- ・弁当の原価率が高かった。
- ・コロナ禍により、売り上げ目標を達成できなかった。

次年度に向けての改善点

- ・カフェを閉店し、給食を開始（ダック・ウェルフェア共に弁当箱で1食250円）
- ・自立訓練（生活訓練）のサービスを再開し、給食の調理補助を訓練とする。

③委託作業部門

《文星芸大清掃》

週3日（月、水、金） 文星芸術大学内の清掃業務

成 果

- 利用者さんを働く仲間として大切にすることで、自ら意欲的に動けるようになり、責任感がでてきた。
- 個別支援実施計画を作成し、一人ひとりをきめ細やかに評価し、具体的な目標を設定したことで、支援員のアセスメント力が上がった。

《下請け作業》

業者：中央パッケージ、シンコール、鎌田スプリング、マーサーズ、
トップ、野州麻紙工房、ハッピースパイス、芳賀ビニール、パソコン太郎、
鹿沼市役所、鹿沼商工会議所など

成 果

- 利用者さんの作業レベルを把握し、個々にあった指示を出し、モデリングやジグを使用し、できる作業を増やした。
- 地域連携の仕事を創出できた。

課 題

- 下請け作業がない時の作業の切り出し。

④自主製品部門

《ペットフード》

成 果

- にゃんまるのわを通じて、ペットフードロスに取り組み貢献できた。
- 協力連携企業、取引先とのコミュニケーションに積極的に取り組んだ。
- 担当職員が、ペットフードディストの資格を取得

課 題

- コロナ禍で、紹介してもらっていた問屋への対応ができなかった。

(3) 収益事業の収支報告

- 総売り上げ 11,887,500円（前年比 89%）
- 工賃総支給額 5,879,297円（前年比 115%）
- 支給人数 391人（前年比 89%）
- 月額平均工賃 15,058円（前年比 115%）

〈月別工賃支給額〉

月	工賃支給額	支給人数	平均工賃
4	332,910円	32人	10,403円
5	418,080円	34人	12,296円
6	429,240円	33人	13,007円
7	368,210円	33人	11,157円
8	352,240円	34人	10,360円

9	374,900円	33人	11,360円
10	386,130円	33人	10,114円
11	323,670円	30人	10,789円
12	287,780円	31人	9,283円
1	299,120円	31人	9,649円
2	322,710円	32人	10,084円
3	1,992,887円	35人	56,939円
合計	5,887,877円	391人	15,058円

※3月分は年度末手当て含む

就労継続B型事業

1. 職員会議、支援会議

(1) 職員会議

- 毎月1回開催
運営会議、世話人会議、研修会等の報告
行事、余暇活動等の検討
施設内職員研修の実施

(2) 支援会議

- 月に3回開催（文星支援会議、下請け支援会議、カフェ支援会議）
- 支援計画検討・作成、モニタリング、ケース検討

(3) 総括・事業計画会議

- 令和2年度事業総括会議
2月20日土曜日
- 令和3年度事業計画作成会議
3月13日土曜日

2. 職員研修

- 精神障害者職場定着サポートスキルアップ研修（宇賀神ゆ）
- 発達障害についての基礎知識（関口・小森・宇賀神ゆ）
- 精神疾患についての基礎知識（宇賀神み）
- ソーシャルストーリーズ入門（宇賀神み・桐生・神戸・大貫）
- 自閉症カンファレンス（神戸・宇賀神み・桐生・大貫）
- 行動分析学オンラインセミナー（全職員）
- サービス管理責任者研修（神戸）
- 経営指針セミナー（神戸）
- 中小企業家同友会例会（神戸・宇賀神み・桐生・大貫）

3. 安全・安心

(1) 防災管理

- ・消火、通報、避難誘導の訓練を年2回実施
- ・消防設備の定期点検を年2回実施（委託業者：（株）メディア・システム）

課題

- ・喫煙所の環境整備
- ・出席人数の把握が難しい。

(2) 危機管理

- ・事故・ヒヤリハット報告 10件
- ・報告書については、回覧し終礼で共有した。
- ・再発防止についての対策について職員間で話し合い、共有した。

課題

- ・ヒヤリハット報告が少ない。（ハインリッヒの法則を意識して報告する）
- ・具体的な対応を決めていないこともある。
- ・報連相の未徹底
- ・再発防止や未然の事故防止とヒヤリハットの繋がりに意識の個人差がある。

(3) 苦情解決・虐待防止

成果

- ・今年度の苦情は0件
- ・利用者さんからの訴え（苦情ではない）があった場合は、複数職員で状況確認を行い、利用者さんへの今後の対応をきめた。
- ・栃木県運営適正化委員会の苦情対応研修に参加。
- ・C C Vウェルフェアのスローガン「いつも笑顔のC C V」を作成し、利用者の満足度向上に努めた。
- ・虐待に対する申し出はなかった。
- ・職員のメンタルヘルス対策として、外部カウンセラーと法人契約をした。

課題

- ・研修内容の社内共有が不十分だった。
- ・契約終了、解約要件についての確認（悪質なクレーマー対策）
- ・利用者さん以外のクレーム対応
- ・利用者さんへの満足度調査調査をやっていない。
- ・職員のメンタルヘルス研修、ストレスチェックができなかった。
- ・法人全体の虐待防止委員会の開催ができなかった。

4. 送迎サービスの実施

- ・市内循環2コース運行

- ・コロナ禍により、交代で午前と午後の通所になったため、一日3回の送迎になった。
- ・送迎の記録を残すことにした。
- ・送迎車乗車前の検温と、フェイスシールドの着用。

5. 余暇活動

- ・コロナウィルス感染拡大のため、計画していた余暇活動を行えなかった。

6. 生活支援

健康管理

- ・コロナウィルス感染対策お便り配布
- ・通所時の検温、手洗い、アルコール消毒
- ・年1回の健康診断
- ・インフルエンザ予防接種の実施（奥山医院：ダック）

相談援助

- ・精神的不安を抱えている方への相談（予約制）
- ・相談のルールを明確にしたことで、相談する側も準備ができて解決につながった方もいた。
- ・複数職員での対応にしたことで、職員の精神的な負担が軽減した。
- ・相談支援員さんと連携し、家族支援を行った。

7. 環境整備

- ・毎日神社清掃を行った。
- ・清掃を利用者の作業として作業時間内に組み込んだ。
- ・地域清掃の実施（不定期）

8. 地域・関係機関との連携

(1) CCVだよりの発行、HP、フェイスブックの更新管理

- ・ホームページの新規リニューアル
- ・フェイスブックの発信を定期的実施
- ・CCVだよりの発行（年2回）
- ・CCVウエルフェア月次予定表の配布

(2) 実習生の受け入れ

- ・コロナ禍により、特別支援学校の実習が中止となった。

(3) 地域連携

- ・KANUMISMの活動を通して、地域の事業者さんと繋がり、利用者さんの新しい作業を作り出すことができた。実習先の開拓にもつながった。中小企業家同友会の例会などにも積極的に参加し、地域の事業主と繋がり連携を深めることができた。